

品質保証研究会 第 191 回幹事会 議事録

1. 日 時 2022 年 1 月 21 日(金) 15 : 00~17 : 00
2. 場 所 リモート会議
3. 出席者 手柴、藤巻(真)、錦野、藤巻(慎)、西田、氏田、西山(谷委任)、高橋、清宮
花岡(宇奈手委任) (欠席：工藤、順不同敬称略)
4. 議 題 前回幹事会・議事録確認、令和 3 年度全体活動計画・定例研究会活動計画および実績、
講演会開催可否検討、幹事分担変更・補充、入退会者確認、その他。
5. 配布資料 1) 第 190 回幹事会議事録(案) [花岡]
(幹 191-N) 2) QASG 令和 3 年度活動計画兼実績 [錦野]
3) QASG 企画実行担当者一覧表 [錦野]
4) QASG ニュース 100 号原稿 [花岡]
5) 入退会確認 [錦野]
6. 議事概要
 - 6.1 資料(幹 191-1)により、第 190 回幹事会議事録(案)の内容を確認した。HP に掲載する。
 - 6.2 資料(幹 191-2)により、令和 3 年度活動計画兼実績について確認した。
 - ・新型コロナウイルス感染再拡大および講師御予定を考慮し、2 月に予定していた第 48 回講演会
は中止とする。
 - ・QASG ニュース 100 号の発行実績を活動計画に反映する。
 - 6.3 資料(幹 191-3)により、企画実行担当者について確認・協議した。
 - ・第 190 回幹事会で補充した新幹事を企画実行担当者に割当て、一覧を確認した。
 - ・第 48 回講演会が中止になるが、他行事の担当者は計画通りとする(スライドしない)。
 - ・藤巻(真)監事から企画実行への協力申し入れあり、了解した。
 - 6.4 資料(幹 191-4)により、QASG ニュース 100 号発行実績を確認した。
 - 6.5 資料(幹 191-5)により、前回幹事会以降の入退会者について確認した。
 - 6.6 第 190 回幹事会で検討項目とした研究テーマおよび体制検討について協議した。
 - 幹事、第 1, 2Gr. 活動メンバへのアンケートを 1/28 まで延長し、総務幹事で集約。
 - アンケート集約結果をもとに企画幹事にて研究テーマ及び体制案を作成。
 - 研究テーマおよび体制案について集中的に協議を行い幹事会で決定(3 月中)。
 - 6 月の総会までに幹事会検討結果を会長へ事前御報告する場を設ける(4 月予定)
7. その他
 - ・第 192 回幹事会はリモートで 3 月に実施予定(詳細日程別途調整)。

以 上

<以下幹事会のみ補足メモ>

6.6 研究テーマおよび体制検討時の意見。

(氏田 L)

第2Gr、ヒューマンファクター研究の成果はRCAの構築と思っています。ただ当時から(JANSIの立場もあり)電力会社の為にとという思いが強かったのも事実です。実際成果もJANSI経由JEACへ反映されたり、JANSIの教育に活用されています。

そのような背景もあり、メーカーの為の第2Gr研究テーマにどのようなものがあるのか、現時点で思い浮かびません。

(藤巻(慎)監事)

長い間、故渡邊氏などメーカー出身でJANSIに移籍した方々がQASGで研究活動を精力的に行ったこともあり、JANSIとQASGの組織的協力関係があったように思われる方が多いと思いますが、実際は個人会員それぞれのバイタリティに依存していました。これまで組織としてのJANSIも黙認していた所がありますが、近年明確に組織として支援できない方針になっていることは御理解頂きたい。

(手柴副会長)

今回、30周年、コロナ禍による活動制限を良い機会として、初心に帰りメーカー主体の会としてQASG活動の方向性を決めていきたい。

幹事会と別に集中的に数回協議を行い決定したい(次回は2/14 15:00~ Web)。

またここ1年関村顧問や越塚会長と交流する機会が減っているのが気掛かりであり、検討した活動の方向性を副会長から御説明する場を設けたい(総会前までに)。

あと藤巻(慎)監事より、9月定年、かつ上述の通りJANSIより後任を出せないことから、幹事会での後任検討を依頼され、了承した。

<幹事会の皆様へ重ねてお願い>

議事録にもあります通り、研究テーマについて幹事の皆様からもご意見頂戴いたしたく、1/28までに花岡まで御回答頂ければ幸いです。

質問1. 現在の原子力を取り巻く環境で課題に思うことを記載ください。

質問2. 品質保証研究会で今後検討したいテーマについて記載ください。

(現在第1, 第2グループのテーマに関係するもの、全く新たなもの等、自由な視点で記載ください)

以上